

第2 水道事業について

1 事業の概況

平成28年度の給水量は、宇治浄水場系では下期が1,096万8,147立方メートル、年間が2,205万1,610立方メートルで、前年度に比べてそれぞれ1.4%と0.1%の減少となっています。

木津浄水場系では下期が449万2,730立方メートル、年間が915万2,189立方メートルで、下期が0.7%の減少、年間が1.0%の増加となっています。

乙訓浄水場系では下期が431万2,960立方メートル、年間が870万8,914立方メートルで、それぞれ3.9%と1.1%の増加となっています。

給水量の合計は、下期が1,977万3,837立方メートル、年間が3,991万2,713立方メートルで、下期が0.1%の減少、年間が0.4%の増加となっています。

また、3浄水場系を合わせた料金収入は、下期が24億2,495万円、年間が48億6,876万円で、それぞれ3.3%と3.6%の増収となっています。

なお、給水量及び料金収入の浄水場系別は、第4表のとおりです。

第 4 表 平成 28 年度給水量及び料金収入（税込み）実績表

項 目		下 期	年 間	年間対前年比 (%)
宇治浄水場系	建設負担水量（日量）(m ³)	108,000	—	—
	建設負担水量（合計）(m ³)	19,656,000	39,420,000	99.7
	給水量 (m ³)	10,968,147	22,051,610	99.9
	超過水量 (m ³)	0	0	—
	料金収入 (千円)	1,170,965	2,349,553	107.8
木津浄水場系	建設負担水量（日量）(m ³)	36,200	—	—
	建設負担水量（合計）(m ³)	6,588,400	13,213,000	99.7
	給水量 (m ³)	4,492,730	9,152,189	101.0
	超過水量 (m ³)	0	0	—
	料金収入 (千円)	566,664	1,139,510	99.9
乙訓浄水場系	建設負担水量（日量）(m ³)	45,800	—	—
	建設負担水量（合計）(m ³)	8,335,600	16,717,000	99.7
	給水量 (m ³)	4,312,960	8,708,914	101.1
	超過水量 (m ³)	0	0	—
	料金収入 (千円)	687,321	1,379,700	99.9
料金収入計 (千円)		2,424,950	4,868,763	103.6

※超過水量は給水量の内数

2 平成 29 年度予算の概要

平成29年度予算は、事業の経営健全化のために、経費の重点的かつ効率的な執行を図ることを主眼に編成しています。

収益的収支（税込み）においては、収入は料金収入48億4,314万円、長期前受金戻入4億3,187万円、その他収益1億9,047万円、合わせて54億6,548万円となっています。支出は、給与費5億363万円、減価償却費26億4,790万円、支払利息5億9,378万円、その他経費13億8,273万円、合わせて51億2,804万円となっています。

資本的支出（税込み）においては、建設改良費55億5,260万円、企業債償還金19億9,051万円、予備費100万円、合わせて75億4,411万円となっています。

平成29年度予算の実施計画は第5表のとおりであり、収益的収支構成比較は第2図のとおりです。

第 5 表 平成 29 年度水道事業会計予算実施計画 (税込み)

1 収益的収入及び支出
収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業収益			5,465,479	
	1 営業収益		4,863,476	
		1 給水収益	4,843,138	給水料金
		2 その他営業収益	20,338	水質検査受託費等
	2 営業外収益		602,003	
		1 受取利息	772	預金利息等
		2 消費税還付金	115,000	
		3 他会計補助金	54,045	一般会計からの補助金
		4 長期前受金戻入	431,875	固定資産減価償却費のうち補助金等相当額
		5 雑収益	311	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 水道事業費用			5,128,040	
	1 営業費用		4,526,847	
		1 原水、浄水及び送水費	1,675,013	{事業所職員給与費 328,851 {事業所営業費 1,346,162
		2 総係費	193,934	{本庁職員給与費 174,782 {本庁営業費 19,152
		3 減価償却費	2,647,900	固定資産減価償却費
		4 資産減耗費	10,000	
	2 営業外費用		600,191	
		1 支払利息	593,782	{企業債利息 455,775 {割賦負担金利息 138,007
		2 雑支出	6,409	府営水道受水市町水道事業経営健全化事業費補助金
	3 特別損失		2	
		1 過年度損益修正損	1	
		2 固定資産売却損	1	
	4 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	

2 資本的収入及び支出
収 入

(単位 千円)

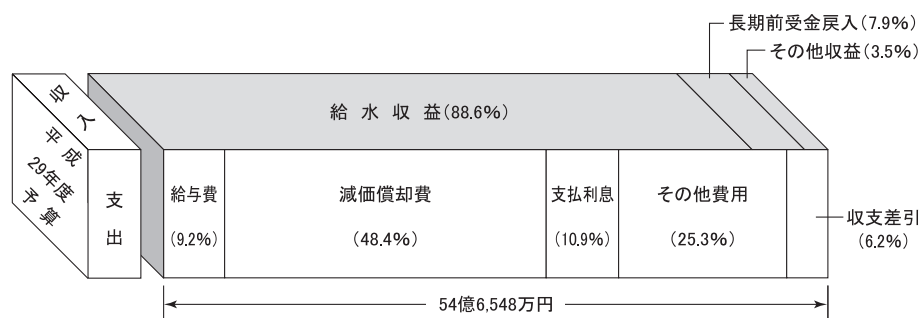
款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			5,115,598	
	1 企業債		4,421,000	
		1 企業債	4,421,000	
	2 出資金		599,851	
		1 出資金	599,851	一般会計からの出資金
	3 補助金		94,746	
		1 国庫補助金	94,746	
	4 固定資産売却代金		1	
		1 固定資産売却代金	1	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			7,544,113	
	1 建設改良費		5,552,597	
		1 府営水道施設拡張事業費	54,727	
		水源開発負担金	32,817	
		建設利息	21,910	
		2 府営水道施設改良事業費	5,497,870	
		諸施設費	3,115,700	{工事費 3,071,386 設備費 27,664 補償費 16,650
		総係費	162,500	委託費
		水源開発負担金	2,206,368	
		建設利息	13,302	
	2 企業債償還金		1,990,516	
		1 企業債償還金	1,990,516	
	3 予備費		1,000	
		1 予備費	1,000	

第 2 図 平成29年度水道事業予算の収益的収支構成比較（税込み）



3 平成28年度決算の経理状況

平成28年度決算の経理状況は、収益的収支（税込み）では収入総額54億1,927万円で、前年度に比べて1.4%（7,631万円）の増収となっています。また、費用総額は51億5,532万円で、前年度に比べ0.1%（595万円）の減少となっています。

一方、資本的支出（税込み）は51億1,689万円で、その内訳は建設改良費30億4,402万円、企業債償還金19億1,287万円、長期借入金償還金1億6,000万円となっています。

4 資産、企業債及び借入金の現在高

平成28年度末における資産総額は795億704万円で、その95.5%が固定資産となっています。また、企業債の現在高は254億2,659万円となっており、これらの明細は第6表及び第7表のとおりです。

第 6 表 水道事業企業債明細書

（単位 千円）

借入先	発行総額	償還高		未償還残高
		当期償還高	累計	
政府資金 (財務省財政融資資金)	21,117,366	672,374	6,261,750	14,855,616
地方公共団体金融機構	16,752,600	783,223	8,043,712	8,708,888
市中銀行	4,906,000	457,271	3,043,915	1,862,085
計	42,775,966	1,912,868	17,349,377	25,426,589

第 7 表 借 入 金 明 細 書

長期借入金

(単位 千円)

借 入 先	借 入 額	返 済 高		未返済残高
		当期返済高	果 計	
府 一 般 会 計	160,000	160,000	160,000	0